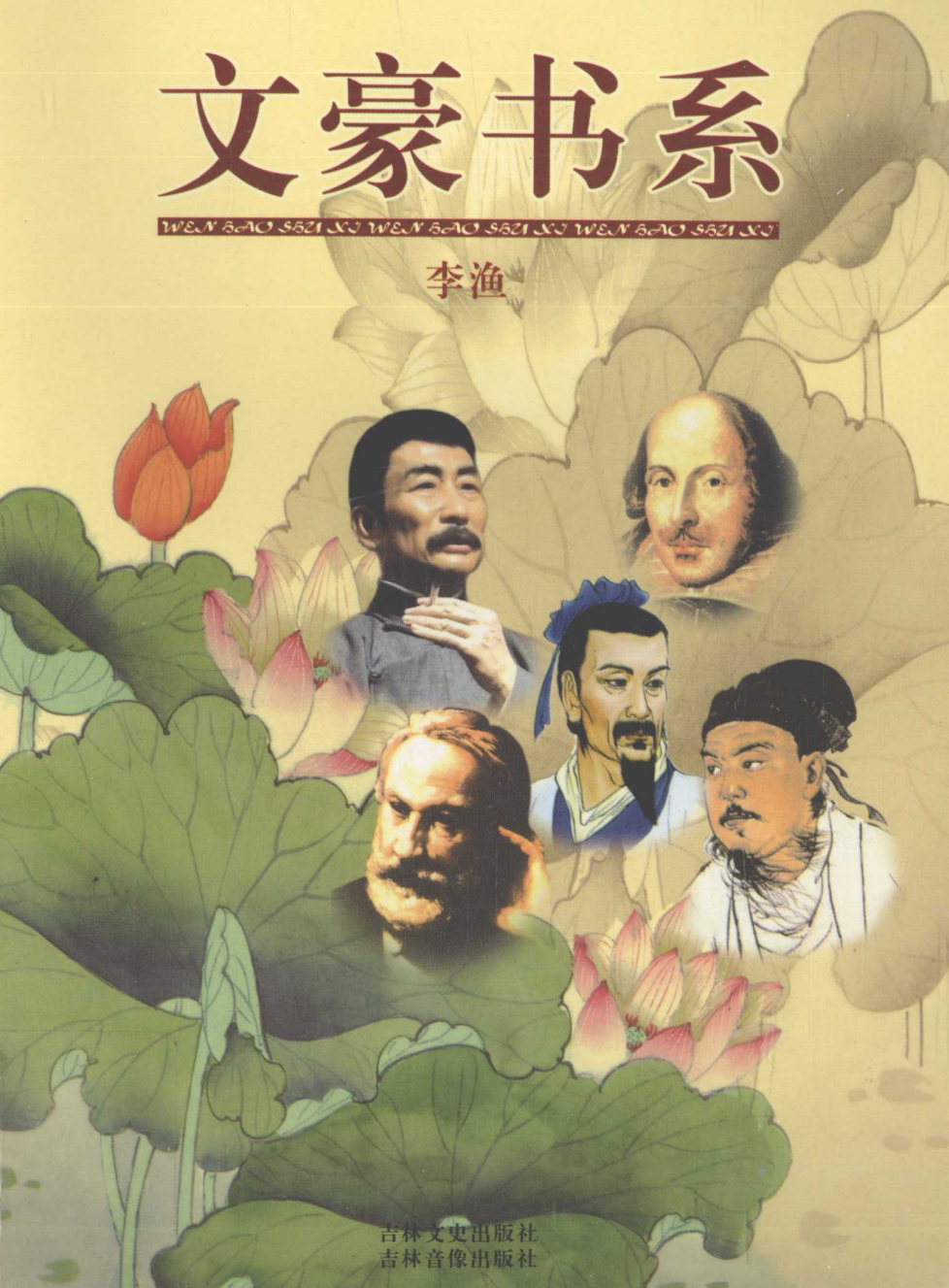


文豪书系

WEN BAO SHI XI WEN BAO SHI XI WEN BAO SHI XI

李渔



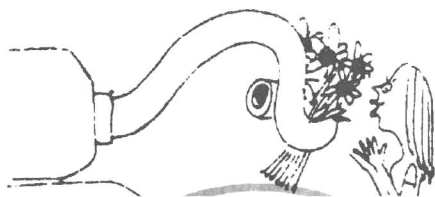
吉林文史出版社
吉林音像出版社

Wen Hao Shu Xi
文豪书系

李 渔

第 21 卷

丁华民 孟玉婷◎主编



吉林文史出版社

吉林文史出版社
吉林音像出版社

图书在版编目(CIP)数据

文豪书系/丁华民主编。—长春:吉林文史出版社,2006.2

ISBN 7-80702-247-7

I.文... II.丁... III.文豪—丛书 IV.I37

中国版本图书馆 CIP 数据核字(2006)第 080143 号

文豪书系

丁华民 孟玉婷 主编

吉林文史出版社
吉林音像出版社 出版发行
北京潮运印刷厂印刷

开本:850×1168mm 1/32 印张:280.5
字数:3800千字 2006年3月第1次印刷
印数:5000
ISBN 7-80702-247-7/I·37
定价:936.00元(全36卷)

目 录

李 渔	(1)
闲情偶寄	(2)
序	(2)
凡例七则	(4)
四期三戒	(4)
一期点缀太平	(4)
一期崇尚俭朴	(4)
一期规正风俗	(5)
一期警惕人心	(5)
一戒剽窃陈言	(5)
一戒网罗旧集	(6)
一戒网罗旧集	(6)
词曲部	
结构第一	(7)
戒讽刺	(10)
立主脑	(12)
脱窠臼	(12)
密针线	(13)
减头绪	(14)

戒荒唐	(15)
审虚实	(16)
词采第二	(17)
贵显浅	(18)
重机趣	(19)
戒浮泛	(20)
忌填塞	(21)
音律第三	(22)
恪守词韵	(27)
凜遵曲谱	(27)
鱼模当分	(29)
廉监宜避	(29)
拗句难好	(30)
合韵易重	(31)
慎用上声	(32)
少填入韵	(33)
别解务头	(34)
宾白第四	(35)
声务铿锵	(35)
语求肖似	(36)
词别繁减	(37)
字分南北	(39)
文贵洁净	(39)
意取尖新	(40)
少用方言	(40)
时防漏孔	(41)

目 录 *Mu Lu*

科诨第五	(42)
戒淫褻	(42)
忌俗惡	(43)
重关系	(43)
貴自然	(43)
格局第六	(44)
家门	(45)
冲场	(46)
出脚色	(46)
小收煞	(47)
大收煞	(47)
填词余论	(48)
演习部	
选剧第一	(49)
别古今	(50)
剂冷热	(50)
变调第二	(51)
缩长为短	(51)
变旧成新	(52)
附:《琵琶记·寻夫》改本	(55)
《明珠记·煎茶》改本	(60)
授曲第三	(66)
解明曲意	(66)
调熟字音	(67)
字忌模糊	(68)
曲严分合	(69)

锣鼓忌杂	(69)
吹合宜低	(70)
教白第四	(71)
高低抑扬	(71)
缓急顿挫	(73)
脱套第五	(74)
衣冠恶习	(74)
声音恶习	(75)
语言恶习	(76)
科诨恶习	(77)
声容部	
选姿第一	(77)
肌肤	(78)
眉眼	(79)
手足	(80)
态度	(82)
修容第二	(84)
盥栉	(84)
薰陶	(87)
点染	(88)
治服第三	(90)
首饰	(91)
衣衫	(93)
鞋袜	(97)
习技第四	(100)
文艺	(101)

丝竹	(104)
歌舞	(106)
居室部	
房舍第一	(109)
向背	(111)
途径	(111)
高下	(112)
出檐深浅	(112)
置顶格	(112)
甃地	(113)
洒扫	(113)
藏垢纳污	(114)
窗栏第二	(115)
制体宜坚	(115)
取景在借	(117)
墙壁第三	(121)
界墙	(121)
女墙	(122)
厅壁	(122)
书房壁	(123)
联匾第四	(125)
蕉叶联	(126)
此君联	(126)
碑文额	(127)
手卷额	(127)
册页匾	(127)

虚白匾	(127)
石光匾	(128)
秋叶匾	(128)
山石第五	(128)
大山	(129)
小山	(130)
石壁	(130)
石洞	(131)
零星小石	(131)
器玩部	
制度第一	(132)
几案	(133)
椅杌	(134)
暖椅式	(135)
床帐	(136)
橱柜	(138)
箱笼篋筭	(139)
古董	(141)
炉瓶	(142)
屏轴	(144)
茶具	(145)
酒具	(146)
碗碟	(147)
灯烛	(147)
笺筒	(150)
位置第二	(151)

目 录 *Mu Lu*

忌排偶	(151)
贵活变	(152)
饮饌部	
蔬食第一	(153)
笋	(154)
蕈	(155)
菰	(155)
菜	(156)
瓜茄瓠芋山药	(157)
葱蒜韭	(157)
萝卜	(157)
芥辣汁	(158)
谷食第二	(158)
饭粥	(158)
汤	(159)
糕饼	(160)
面	(160)
粉	(161)
肉食第三	(162)
猪	(162)
羊	(163)
牛犬	(163)
鸡	(163)
鹅	(164)
鸭	(164)
野禽 野兽	(165)

鱼	(165)
虾	(166)
鳖	(166)
蟹	(167)
零星水族	(168)
附:不载果食茶酒说	(169)
种植部	
木本第一	(170)
牡丹	(170)
梅	(171)
桃	(172)
李	(173)
杏	(173)
梨	(173)
海棠	(174)
玉兰	(175)
辛夷	(175)
山茶	(176)
紫薇	(176)
绣球	(176)
紫荆	(177)
梔子	(177)
杜鹃 樱桃	(177)
石榴	(177)
木槿	(178)
桂	(178)

目 录 *Mu Lu*

合欢	(178)
木芙蓉	(179)
夹竹桃	(179)
瑞香	(180)
茉莉	(180)
藤本第二	(181)
蔷薇	(181)
木香	(182)
酴醾	(182)
月月红	(182)
姊妹花	(183)
玫瑰	(183)
素馨	(183)
凌霄	(183)
真珠兰	(184)
草本第三	(184)
芍药	(184)
兰	(185)
蕙	(186)
水仙	(186)
芙蕖	(187)
罌粟	(188)
葵	(188)
萱	(188)
鸡冠	(188)
玉簪	(189)

凤仙	(189)
金钱	(189)
蝴蝶花	(190)
菊	(190)
菜	(191)
众卉第四	(192)
芭蕉	(192)
翠云	(192)
虞美人	(193)
书带草	(193)
老少年	(193)
天竹	(194)
虎刺	(194)
苔	(194)
萍	(194)
竹木第五	(195)
竹	(195)
松柏	(196)
梧桐	(196)
槐榆	(197)
柳	(197)
黄杨	(198)
棕榈	(198)
枫柏	(198)
冬青	(199)

颐养部

行乐第一·····	(199)
贵人行乐之法·····	(200)
富人行乐之法·····	(201)
贫贱行乐之法·····	(202)
家庭行乐之法·····	(203)
道途行乐之法·····	(204)
春季行乐之法·····	(205)
夏季行乐之法·····	(206)
秋季行乐之法·····	(207)
冬季行乐之法·····	(207)
随时即景就事行乐之法·····	(208)
睡·····	(208)
坐·····	(210)
行·····	(211)
立·····	(211)
饮·····	(212)
谈·····	(212)
沐浴·····	(213)
听琴观棋·····	(213)
看花听鸟·····	(214)
蓄养禽鱼·····	(214)
浇灌竹木·····	(216)
止忧第二·····	(216)
止眼前可备之忧·····	(217)
止身外不测之忧·····	(217)

调饮啜第三	(217)
爱食者多食	(218)
怕食者少食	(218)
太饥勿饱	(218)
太饱勿饥	(219)
怒时哀时勿食	(219)
倦时闷时勿食	(219)
节色欲第四	(219)
节快乐过情之欲	(220)
节忧患伤情之欲	(221)
节饥饱方殷之欲	(221)
节劳苦初停之欲	(221)
节新婚乍御之欲	(222)
节隆冬盛暑之欲	(222)
却病第五	(223)
病未至而防之	(223)
病将至而止之	(223)
病已至而退之	(224)
疗病第六	(225)
本性酷好之药	(226)
其人急需之药	(227)
一心钟爱之药	(227)
一生未见之药	(228)
平时契慕之药	(229)
素常乐为之药	(229)
生平痛恶之药	(230)

李 渔

李渔(1611-1680)字笠鸿,后字笠翁,号觉世稗官,兰溪(今属浙江)人,是清初著名的戏曲作家、戏曲理论家和戏曲活动家,著有传奇十六种。《风筝误》是李渔的早期剧作。与当时剧坛题材陈陈相因的承袭风尚不同,李渔的戏曲创作匠心独运,于情节与人物的设计脱尽窠臼。作者擅长运用误会和巧合的手法,擅长运用美丑对比、生旦戏与净丑戏对举的对法,使全剧充满了诙谐新奇的喜剧效果。李渔曾长期充任戏班班主,他的《闲情偶寄》中又记录有许多戏剧表演的经验和理论,故李渔的剧作,特别是代表作《风筝误》,正是所谓“场上之作”,是他戏剧理论(如“立主脑”、“戒荒唐”,“重宾白”等主张)的具体实践。

《风筝误》问世后曾广为流传。其中《惊丑》、《婚闹》、《逼婚》、《詫美》等出,至今仍为南北许多剧种搬演。梅兰芳、尚小云曾改编上演过本剧;京剧《凤还巢》亦脱胎于此。本剧版本很多。此次整理所用者为清康熙年间刻本。

闲情偶寄

序

声色者，才人之寄旅；文章者，造物之工师。我思古人，如子胥吹箫，正平挝鼓，叔夜弹琴，季长弄笛，王维为“琵琶弟子”，和凝称“曲子相公”，以至京兆画眉，幼舆折齿，子建傅粉，相如挂冠，子京之半臂忍寒，熙载之衲衣乞食，此皆绝世才人，落魄无聊，有所托而逃焉。犹之行百里者，车殆马烦，寄宿旅舍已尔，其视宜春院里画鼓三千，梓泽园中金钗十二，雅俗之别，奚翅径庭哉！然是物也，虽自然之妙丽，借文章而始传。前人如《琴》、《笛》、《洞箫》诸赋，固已分炁节度，穷极幼眇；乃至《巫山》陈兰若之芳，《洛浦》写瑶碧之饰，东家之子比其赤白，上宫之女状其艳光，数行之内，若拂馨香，尺幅之中，如亲巧笑，岂非笔精墨妙，为选声之金管，练色之宝镜乎？抑有进焉，江淹有云：“蓝朱成彩，错杂之变无穷；宫商为音，靡曼之态不极。”蛾眉岂同貌而俱动于魄？芳草宁共气而皆悦于魂？故相其体裁，既家妍而户媚；考其程式，亦日异而月新。假使飞燕、太真生在今时，则必不奏《归风》之歌，播《羽衣》之舞；文君、孙寿来于此地，则必不扫远山之黛，施堕马之妆。何也？数见不鲜也。客有歌于郢中者，《阳春白雪》，和者不过数人，非曲高而和寡也，和者日多，则歌者日卑。《阳春白雪》何异于《巴人下里》乎？西子捧心而顰，丑妇效之，见者却走。其妇未必丑也，使西子效顰，亦同嫫母矣。由此观之，声色之道千变万化。造物者有时而穷，物不可以终穷也，故受之以才。天地炉锤，铸之不尽；吾心囊膂，动而愈出。三寸不律，能凿混沌之窍；五色赫蹄，可炼女娲之石。则斯人者，诚官